

民報

あばしり

NO.1071

2016.6.5

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西  
三  
四三・四四五八



松浦奮戦メモ

早いもので6月になり14日から23日まで市議会が開催されます。その前段で、1日に議会運営委員会、6日は総務・

# 松浦議員の行政視察 報告2

市議会・総務経済委員会の行政視察2日目は、徳島県美馬郡つるぎ町で「つるぎの達人」について担当者から説明を受けました。つるぎ町は、平成17年に半田町、貞光町、一宇村の2町1村が合併してできた町で、高齢化率は40%を超える状況にあります。平



商家の屋根に立つ「うだつ」

地として繁栄し、阿波藩内でも十指に数えられる巨商を生み、商売の町と呼ばれるほどで、当時の繁栄を今に伝えるのが商家の屋根に立つ「うだつ」です。「ぐずぐずして成長や発展がない」という意味で使われる「うだつが上がらない」という言葉の源語になっています。説明を受けた後、達人の案内で、連立する「うだつの町並み」は、当時の隆盛ぶりがうかがえます。他にも、「巨樹めぐり」「吉野川ツーリング」「山里で野鍛冶体験」など、地域の魅力を生かした取り組みがなされています。歴史が浅い網走でも他の町にはない特徴・魅力を再発見して、人を呼べる取り組みができないか、知恵を出す必要があると感じました。

## 寒さに負けず花見開催

### 南後援会



参加者に挨拶する松浦議員

日本共産党南後援会の花見が5月29日行われました。この日は、朝から肌寒い気温10度の中、風除け・雨除けのブルーシートを張り万全の準備ではじまりました。堀内後援会長からあいさつがあり、松浦議員から1ヵ月後に迫った参院選で、野党共闘が進んで定数1名の32選挙区で共闘ができました。あることが報告されました。北海道では3人区になり選挙区の森つねと予定候補を必ず当選と比例での日本共産党の躍進を訴えました。乾杯は、杉山前後援会長の発声ではじまり、楽しいひと時を過ごし参院選勝利を誓い合いました。

## 街・スポットライト

今の時期の旬の野菜は本当においしい食べ物です。JA野菜直売所に多くの市民が、販売開始前から好みの野菜をかごに入れ、並んでいます。他よりも安く、安全、そして生きのいい採れたての野菜を手に入れようと並ぶのもうなずけます。学生と思われる若者が「野菜を食べるように親に言われています」と隣り合わせた買い物客の女性に、照れくさそうに話していました。このような地元の農産物(農業)をダメにするTPPは断固反対！7月からは毎週土曜日6時30分〜7時00分まで、朝農協裏駐車場「朝市」が行われます。



にぎわうJA野菜直売所

## 流氷

「スポーツ選手は頭がよくなければならぬ、学者は健康でなければならぬ」30年ほど前に読んだ本にあり、中身を読んで納得した。「スポーツ選手は同じ練習を1万回しても、抜きん出ることとはできない、他の選手はそれ以上しているから。でもそこでひとひねり頭を使って他と違うことをすると金メダルに届く」と。

20代30代でノーベル賞をもたらした人はいない、「長い研究の末に成果が出るので、健康で長生きしなければ学者は務まらない」というのだ。今ほど栄養学を取り入れてスポーツ選手を育てる時代に、まだ精神だけ「がんばれ、がんばれ」では、選手は伸びない。駅伝2連覇の青山学院大学の監督はテレビなどで引つ張りだが、「選手は自主性に任せて、過度な練習をしない、本人に考えさせチームワークを作る」聞いていてなるほどと思った。選挙も同じだ、税金を国民のためにこそ使わせたい。大資本優遇の税制を変えたい。平和に生きる「主権在民」の国こそ真に願う。1946年4月10日衆議院選初めて選挙権を得た女性の棄権率は、29.7%であった。今若い人たちが「戦争に行かないで選挙に行こう」と呼びかけている、大賛成である。